

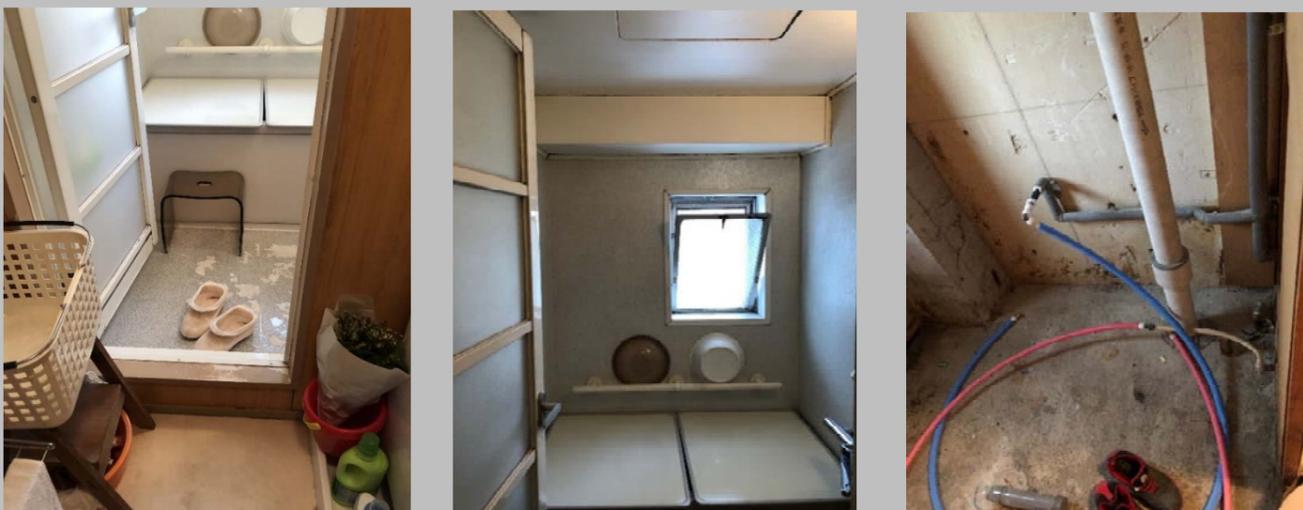
〈作品タイトル〉 「ちょっとでも広く」を実現したユニットバス

物件概要	主なリフォーム空間	浴室	築年数	41	年
	主な採用メーカー	TOTO	リフォーム面積 ※いずれかの単位に○	1.76 (坪) (㎡) → 1.98 (坪) (㎡)	
	住宅形態	マンション	リフォーム日数	全体 4 日 (内対象部位 2 日)	
	エリア又はマンション名	大阪市旭区	リフォーム費用	総額 135 万円 (内対象部位 90 万円)	

高殿第2コーポ

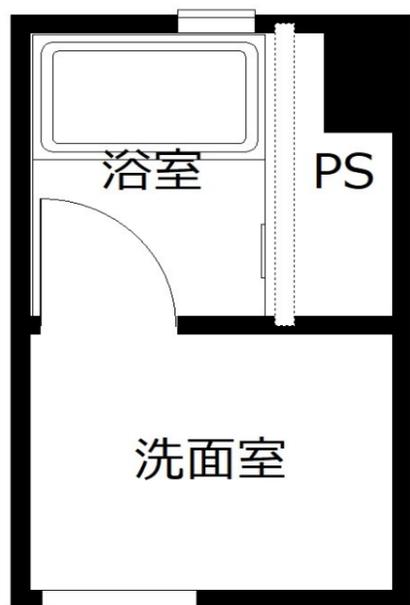
Before

20年前のユニットバスですが、傷みもみられます。



〈写真の説明〉 解体後には、パイプシャフト内に余裕があるのが分かります。

〈リフォーム前の図面〉



リフォーム前のポイント

- お施主様のお悩み・ご要望
 - ・ 前回リフォームした時に、いいお風呂にしたつもりだが、傷みが激しくなってきたのと、浴槽への跨ぎ込みが大変なので、入りやすいお風呂にしたい。
 - ・ どの業者もこれ以上広く出来ないというが、
- お悩みの原因
 - 当時良い商品であっても、年数が経ち、最新の商品と比較すると機能的にも劣る部分が出てきてしまいます。
 - 業者によっては、知識が不足し、しっかりとした現場調査が出来ない場合もあります。



TOTO
マンション用
ユニットバス
WY



〈写真の説明〉 広がるユニットバスを採用し、空間に余裕があり、明るく清潔感のある浴室を実現。

〈リフォーム後の図面〉



リフォーム後のポイント

- お施主様をリモデルに導いた過程
 - 丁寧な現場調査により、ユニットバス横のP.Sを空間として利用できる事を確認しました。
- お施主様に提案した解決方法
 - 現調により、短手方向に100mm伸ばせる事になり、既存より大きくゆったりとした浴槽を採用。長手方向にも梁カットでギリギリまで攻めて、50mm大きくなりました。また、入口の高さも低くなり、浴槽の跨ぎ込みも低くなるので、お風呂の動作の安全性が高まりました。
- お施主様の声
 - ユニットバスが大きくなり、要望通りのびのびと湯船に浸かる事ができ、お風呂に入るのが楽しくなりました。
 - ユニットへの入口、浴槽への入る高さが低くなり、手摺や浴槽の形状と相まって、身体への負担も少なく、安心してお風呂に入れる様になりました。